



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：クルド地方選挙

(7月25日-26日付現地各紙、AFP 通信社)

7月25日にクルド地方政府大統領及びクルド地方議会選挙が行われた。

開票は、エルビルで予備開票を行い、その後、バグダッドで正式開票手続が行われる為、選挙結果が判明するのは数日後となる見込み。

1. 投票率：IHECによると、今回の選挙の投票率は以下の通り。

- (1) クルド地域全体：78.5%、(2) ドホーク県：85.9%、(3) エルビル県：79%、
- (4) スレイマニア県：74.5%、(5) バグダッド（遠隔地投票）：15%

2. 「変革<Goran>」リストの躍進

- (1) 26日、新野党の「変革」リストは、従来のクルド民主党（KDP）とクルド愛国同盟（PUK）による支配の終焉に向けた目覚ましい躍進を遂げたと発表した。  
同党は、PUKの地盤であったスレイマニア市（クルド地方の第二の都市）での議会選挙で大半の票を獲得し、スレイマニア県全体でも勝利したとした。スレイマニア県での勝利は、同党が総議席数111議席のうちの概ね30議席を獲得することを意味するかもしれない。又、同日、「変革」リストの幹部職員はスレイマニア県で19議席、エルビルで9議席を獲得する見通しを述べた。
- (2) KDP筋は、KDPとPUKの合同選挙リスト「クルド・リスト」は、クルド地方全体で59%を得票し、55議席程度を獲得するとの見通しを示した。  
尚、「クルド・リスト」は2005年の選挙では78議席を獲得している。
- (3) 左派系選挙リストは、17議席程度を獲得するものと見られている。

3. 今回の選挙での「変革」リストの躍進はクルドにおける強力な野党力の形成を意味するもので、これまでのKDPとPUKによる2党支配を脅かすものである。

今回の選挙戦では長期にわたる2大政党支配の結果としての汚職に対する不満、変革の必要性に対する希望が表明されていた。一方、今回の選挙では世論調査が実施されておらず、これが選挙結果の予測を困難にしていた。

【参考】

議会の111席は、100議席が一般議席、カルデア系、アッシリア系及びシリアクス系の住民に5議席、トゥルクマン系に5議席、アルメニア系に1議席が割り当てられている。19政党及び5選挙同盟により111議席が争われた。